

台風18号の被害で太田国交大臣に要望 公明党静岡県本部



▲太田昭宏国土交通大臣に要望書を手渡す大口善徳静岡県本部代表ら＝10月15日 国土交通省

公明党静岡県本部(代表＝大口よしのり国会対策委員長)は10月15日、国土交通省に太田昭宏国土交通大臣を訪ね、台風18号の被害からの復旧や今後の防災対策支援を求める要望書を手渡しました。党静岡県議団(前林孝一良代表)、党静岡市議団(岩崎良浩代表)が同席しました。

大口県代表らは、①JR東海道本線など交通インフラの安全確保、②新東名高速道路の強靱化、③災害復旧事業の予算確保 ― を要望。

太田国土交通大臣は「しっかり対応していく」と答えました。

【現役職】《衆議院》法務委員 《公明党》国会対策委員長、常任役員、静岡県本部代表、東海道方面本部長 《政務調査会・対策本部》法務部会顧問、行政改革推進本部副本部長など 《委員会・プロジェクトチーム(PT)・懇話会等》 特定秘密保護法案に関する検討PT座長、スーパークー規制法等改正検討PT座長、総合海洋政策に関するPT座長、大規模火山災害対策PT座長、地方航空路線問題対策委員会委員長、マンション問題議員懇話会副会長・幹事長、公認会計士懇話会副会長、行政書士制度推進議員懇話会幹事など

日中議会交流委員会の準備会合で中国を訪問

大口よしのり議員は10月12日と13日の両日、日中議会交流委員会の準備会合で、衆議院の代表団(団長:逢沢一郎衆議院議院運営委員長)の一員として、中華人民共和国を訪問しました。

これは2012年以来中断している日中議員間交流の再開についての協議をするための訪中で、13日には中国の国会である全国人民代表大会の張平・常務委員会副委員長及び曹衛洲・副秘書長と会談しました。



胆道閉鎖症の子供を守る会の陳情を受ける

大口よしのり議員は10月15日夕刻、衆議院第一議員会館で、胆道閉鎖症の子供を守る会の竹内公一代表や、静岡県富士市在住の同会の和田弘仁(ひろみ)本部運営委員らの陳情を受けました。これは大口議員が古屋範子党副代表(厚生労働部会長・衆議院議員)や党難病対策推進本部の江田康幸本部長(衆議院議員)に呼びかけて実現したものです。これには早川育子静岡県議も同席しました。

胆道閉鎖症は肝臓と十二指腸を結ぶ胆道の欠損、不全による胆道疾病であり、患者さんは全国で3000~3500人と言われていています。医療費の公的補助制度は、20歳以下の患者さんを対象にした「小児慢性特定疾患治療研究事業」がありますが、20歳を超えるとありません。「難病の患者に対する医療費等に関する法律」が成立し、胆道閉鎖症の指定難病の認定につき要望を受け、認定実現に向け協力する旨お答えしました。



ストーカー罰則強化 — 規制法改正試案を議論

公明党のストーカー規制法等改正検討プロジェクトチーム(座長=大口よしのり衆議院議員)は9月18日、参議院議員会館で会合を開き、ストーカー規制法改正に関する公明党の骨子試案について議論しました。骨子試案は、公明党の主張で被害者遺族らが加わり設置された警察庁の有識者検討会が先月まとめた報告書を踏まえたものです。

罰則強化のほか、インターネット交流サイト(SNS)を使ったメッセージの連続送信や、被害者周辺をみだりにうろつく行為を新たに禁じることとしました。

さらに、被害者の避難に対する国や地方自治体の支援や、加害者対策として受刑者への指導などに関する調査研究の推進も盛り込んでいます。大口座長は会議の最後に、「臨時国会で改正案を提出したい」と強調しました。



技術革新へ「若手」支援を – ノーベル賞・天野氏が講演 文部科学部会・科学技術委員会合同会議

青色発光ダイオード(LED)の開発で、名城大学の赤崎勇教授、米国カリフォルニア大学サンタバーバラ校の中村修二教授とともに、ノーベル物理学賞の受賞が決まった名古屋大学大学院の天野浩教授は10月22日、衆議院第2議員会館で開かれた公明党文部科学部会、科学技術委員会の合同会議で講演しました。これには山口代表、大口国対委員長をはじめ多数の党所属の国会議員が出席しました。

天野氏は、自身が学生の時、名古屋大学にいた赤崎氏の研究室で青色LEDに必要な「窒化ガリウム」の高品質結晶の作製に取り組んだことに触れ、「何千回もうまくいかない時が続いたが、少しずつ勉強して、技術も習得していった」と説明。試行錯誤する中で研究装置が故障したことをきっかけに新技術を開発し、高品質結晶の作製に成功したと紹介しました。これを踏まえ天野氏は、「大きな課題があった時に、それを突破するのは若い力。博士課程や若いポストドク(ポストドクター＝博士研究員)がイノベーション(技術革新)には必須だ」と述べ、奨学金制度の充実や博士課程の学生を確保するための経済的支援・基礎研究への支援などを訴えました。



「宇宙博2014 – NASA・JAXAの挑戦」を視察

公明党の宇宙の開発・利用委員会(委員長＝斉藤鉄夫衆議院議員)と文部科学部会(部会長＝山本香苗参議院議員)は9月9日、千葉市美浜区の幕張メッセで開催された「宇宙博2014」を視察しました。これには大口よしのり、高木美智代の両衆議院議員ら衆参の国会議員が参加しました。

一行は、国際宇宙ステーションの一部である「きぼう」日本実験棟の実物大モデルなどを視察し、宇宙航空研究開発機構の担当者らから日本の技術が国際的に果たす役割について説明を受けました。

大口議員は視察後、「日本の技術を発展させ、国際貢献するためにも宇宙開発を後押しする」と語りました。



日本が宇宙開発の技術力でリード – 若田光一宇宙飛行士

超党派の日本宇宙議員連盟は8月5日午前、参議院議員会館内で総会を開き、日本人で初めて国際宇宙ステーションの船長を務めた若田光一宇宙飛行士を招き、宇宙滞在の体験を交え、話を伺いました。これには、同議連のメンバーである大口よしのり衆議院議員も参加しました。

若田光一宇宙飛行士は、日本人初の国際宇宙ステーション(ISS)の船長を務め、そのほか日本人最多の4回の宇宙飛行回数、188日の連続宇宙滞在、348日の累積宇宙滞在の記録を持っています。

若田船長は、「和の心」を信条に、アメリカ人やロシア人からなる5人のクルーをまとめ、ライフサイエンス、宇宙医学、材料工学などの様々な宇宙実験を実施。そのほか超小型衛星の放出や超高精細(4K)カメラでの宇宙初の撮影等を行うなど、大きな成果をあげました。



夏祭り



地元自治会連合会の役員の皆様はじめ、地域の多くの方々と楽しいひと時を過ごすことができました。運営にご尽力された役員の皆様へ深く感謝申し上げます。



写真左上=美川町盆踊り大会 上=にしとよ祭り ・ 静岡市

敬老会

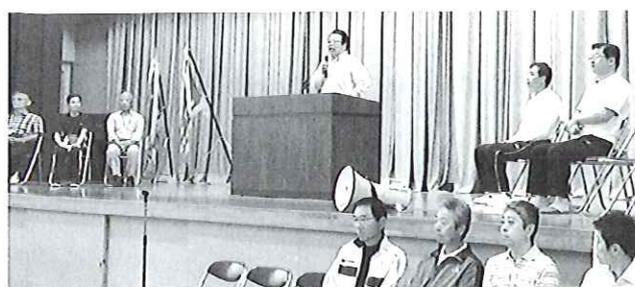


写真上=長田東学区敬老会 右上=賤機中学区敬老会
・ 静岡市

お元気な皆様にお祝いの言葉を述べるとともに、健康長寿の秘訣として、「きょういく」=今日、行くところがある、「きょうよう」=今日、用事があることの大切さなどを語りました。



運動会



ラジオ体操で体をほぐしたあと、地域の皆様と親しく懇談。雨のため体育館で開催となった美和学区は地域防災も想定したものでした。



写真左上=雨のため体育館で開催した美和学区運動会
上=賤機北学区運動会 ・ 静岡市

発行:大口よしのり後援会

■国会事務所 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館308号 TEL03-3508-7017
■静岡事務所 静岡県静岡市葵区伝馬町23-6 TEL054-273-8739